RG79A191H02

MITSUBISHI 三菱電機パッケージエアコン別売化粧パネル カンタン自動（自動昇降）パネル据付工事説明書

安全のために必ず守ること

●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行なってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●据付工事完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明してください。
また、この据付工事説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行なう。
●据付けに不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

台風などの強風、地震に備え所定の据付工事を行なう。
●据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因となります。

据付けは、重量に充分に耐えるところに確実に行なう。
●強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより、事故の原因になります。

小部屋に据付ける場合は万一冷媒が洩れても限界濃度を超えない対策を行なう。
●限界濃度を超えない対策については、販売店にご相談ください。
万一、冷媒が洩れて限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

作業中に冷媒が洩れた場合は、換気する。
●冷媒が火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカを使用する。
●電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
●接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災等の原因になります。

室内外ユニットの端子盤カバー（パネル）を確実に取付ける。
●端子盤カバー（パネル）取付けに不備があると、ほこり・水等により、火災・感電の原因になります。

据付けや移設の場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。
●空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。

加湿器、暖房用電気ヒータ、高性能フィルターなど別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。
●取付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

改造は絶対にしない。
●修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
改造したり修理に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

お客様自身で移動・再据付けはしない。
●据付けに不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。
お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

設置工事終了後、冷媒が洩れていないことを確認する。
●冷媒が室内に洩れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

据付けをする前に（環境）

⚠注意

特殊環境には使用しない。
●油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所、海浜地区など塩分の多い場所、積雪により室外ユニットが塞がれるところに使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れの恐れがある場所へは据付けない。
●万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になることがあります。

精密機器・食品・動植物・美術品の保存等特殊用途には使用しない。
●保存物の品質低下等の原因になることがあります。

濡れて困るものの上にユニットを据付けない。
●湿度が80％を越える場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合もあります。また、暖房時には室外ユニットよりドレンが垂れますので、必要に応じ室外ユニットも集中排水工事をしてください。

病院、通信事業所などに据付けられる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。
●インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。

PLP−J100, J125, J160KJ＊（ワイヤードリモコン対応）
GP−J100, J125, J160KJ＊（ワイヤードリモコン対応）
※ワイヤレスリモコン対応は別売ワイヤレスリモコンと別売受光アダプタが必要です

据付け（移設）工事をする前に

⚠注意

製品の運搬は充分注意して行なう。
●20kg以上の製品は原則として2人以上で行なってください。
PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

梱包材の処理は確実に行なう。
●梱包材には「クギ」等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとさし傷などのケガをする恐れがあります。

冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行なう。
●不完全な断熱施工を行なうと配管等表面が結露して、露たれ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するように施工し、結露が生じないように保温すること。
●配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になることがあります。

据付台等が傷んだ状態で放置しない。
●傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガ等の原因になることがあります。

エアコンを水洗いしない。
●感電の原因になることがあります。

電気工事をする前に

⚠注意

設置場所（水気のある場所等）によっては漏電遮断器を取付ける。
●漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になることがあります。

電源配線は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。
●漏電や発熱・火災の原因になることがあります。

電源配線は張力が掛からないように配線工事をする。
●断線したり、発熱・火災の原因になることがあります。

アース工事を行なう。
●アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

正しい容量のヒューズを使用する。
●大きな容量のヒューズや針金・銅線を使用すると故障や火災の原因となることがあります。

試運転をする前に

⚠注意

運転を開始する12時間以上前に電源を入れる。
●電源を入れてすぐ運転開始すると、故障の原因になることがあります。
シーズン中は電源を切らないでください。

パネルやガードを外した状態で運転をしない。
●機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

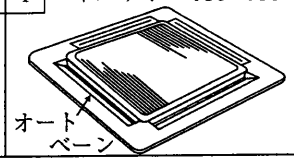
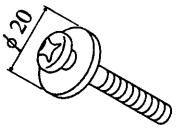
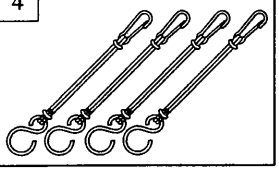
エアフィルタを外したまま運転をしない。
●内部にゴミが詰まり、故障の原因になることがあります。

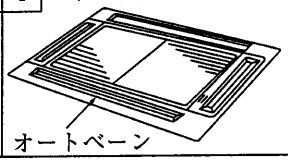
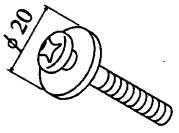
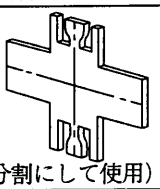
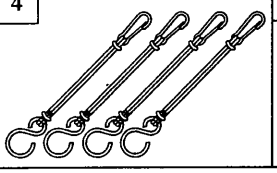
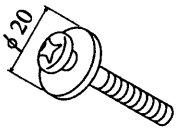
濡れた手でスイッチを操作しない。
●感電の原因になることがあります。

運転中の冷媒配管に素手で触れない。
●運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷ややけどになる恐れがあります。

運転停止後、すぐに電源を切らない。
●必ず5分以上待ってください。
水漏れや故障の原因になることがあります。

1. 部品の確認 （この箱の中には本説明書と下記部品が入っています。）

中形パネルの場合（J100,J125形）				
品番品名	①化粧パネル	②座付ネジ(銀色)	③据付用ゲージ	④吊りひも
個数	1 パネルサイズ 950×950	4 M5×0.8×55	1	4
形状			(4分割にして使用)	

大形パネルの場合（J160形）					
品番品名	①化粧パネル	②座付ネジ(銀色)	③据付用ゲージ	④吊りひも	⑤座付ネジ(金色)
個数	1 パネルサイズ 950×1470	4 M5×0.8×55	1	4	2 M5×0.8×60
形状			 (4分割にして使用)		

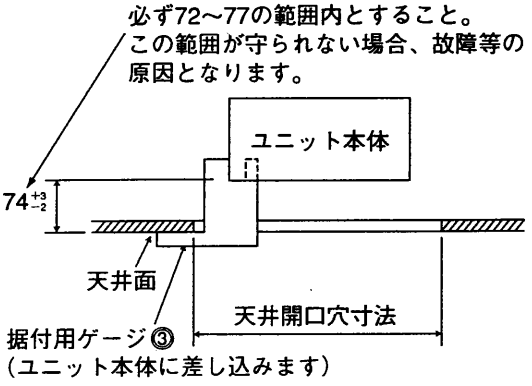
※オートベーンを、手などにより回転させたり、無理な力を絶対に加えないでください。故障の原因となります。

2. 化粧パネル取付前の準備

1) ユニット本体据付位置の確認

●付属の据付用ゲージ③を使用し、天井面とユニット本体の位置関係を微調整をする。
天井面とユニット本体の位置が合わないと風もれや露たれ及びオートベーンの作動不良等の原因となります。

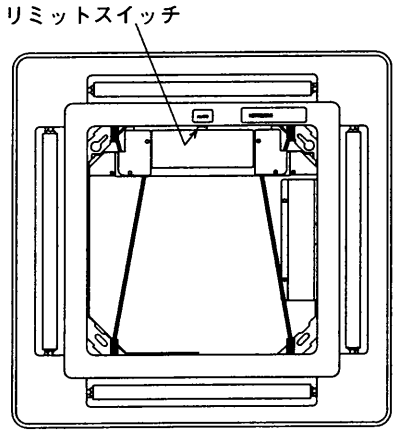
●天井開口穴は下記の範囲内か確認します。
中形パネル(J100, J125形)…860×860～910×910
大形パネル(J160形)…860×1360～910×1430



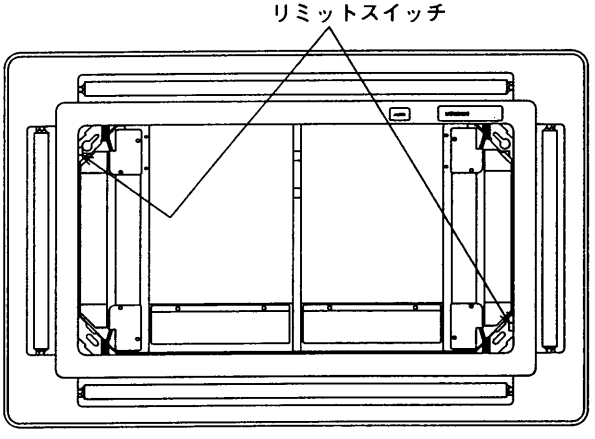
2) 吸込グリルの取外し

※下図の位置に吸込グリル収納検知用のリミットスイッチがありますので、以降の作業時にリミットスイッチを破損しないよう十分注意してください。

中形パネルの場合

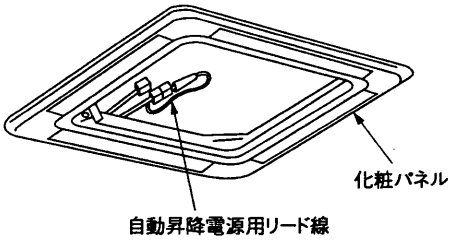


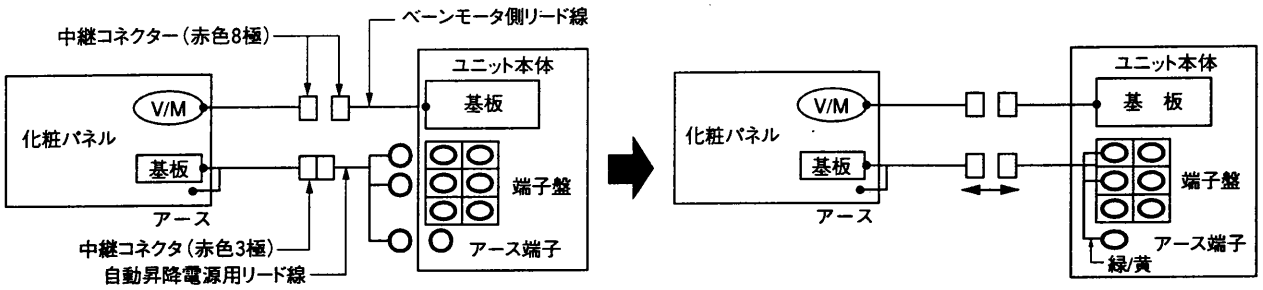
大形パネルの場合



3）自動昇降電源用リード線の取付け
※必ず化粧パネルを取付ける前に下記の作業をしてください。
①ユニット本体の電気品カバーを外し、パネル側の自動昇降電源用リード線の中継コネクタを一度外して、ユニット本体側端子盤及びアース端子に接続します。（下図参照）
機種により下表のように接続端子記号が異なりますので注意してください。

本体形名	端子盤記号	接続端子記号	備　　考
PLA-KA	TB4	S1, S2	TB2のR, Sには接続しないこと
PLFY-KM	TB2	R, S	





②ユニット本体側に取付けた自動昇降電源用リード線は、ベーンモータ用リード線と同位置に配置しておきます。
③リード線の端子接続作業終了後、ユニット本体の電気品カバーを元通りに取付けてください。

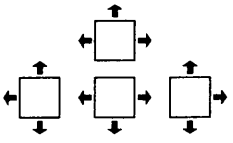
◆外付け型受光アダプタ対応のワイヤレスリモコンを使用する場合
※詳細は別売外付け型受光アダプタの説明書をご覧ください。

3．吹出口の配置選択　※2方向吹出しはできません。

●本化粧パネルは、吹出し方向を5パターン選択できます。また、設定を変えることにより、風量（風速）の調整が出来ます。据付場所に合わせて選択してください。

※工場出荷時の状態――吹出口数――4方向
　　　　　　　　　　――風量――標準（天井高さ2.7m）

1）吹出方向のパターンを決定します。

吹出方向のパターン	4　方　向	3　方　向
	1パターン　工場出荷時の状態	4パターン　吹出口1つを全閉 

※吹出口数を3方向にする場合は、別売の吹出口シャッタープレートを手配してください。
※吹出口シャッタープレートの取付方法については、別売吹出口シャッタープレートの説明書を参照してください。

2）吹出口数及び風量（据付ける天井高さ）に応じて設定を変更します。（必ず行なってください。）

●組合せ室内ユニットがＫＡ形の場合
リモコンからの設定となりますので、リモコンに付属してあります据付工事説明書の機能選択の項をご覧ください。

●組合せ室内ユニットがＫＭ形の場合
室内ユニット本体アドレス基板のスライドスイッチを下表により設定してください。

〈天井高さ及び吹出口数の対応〉

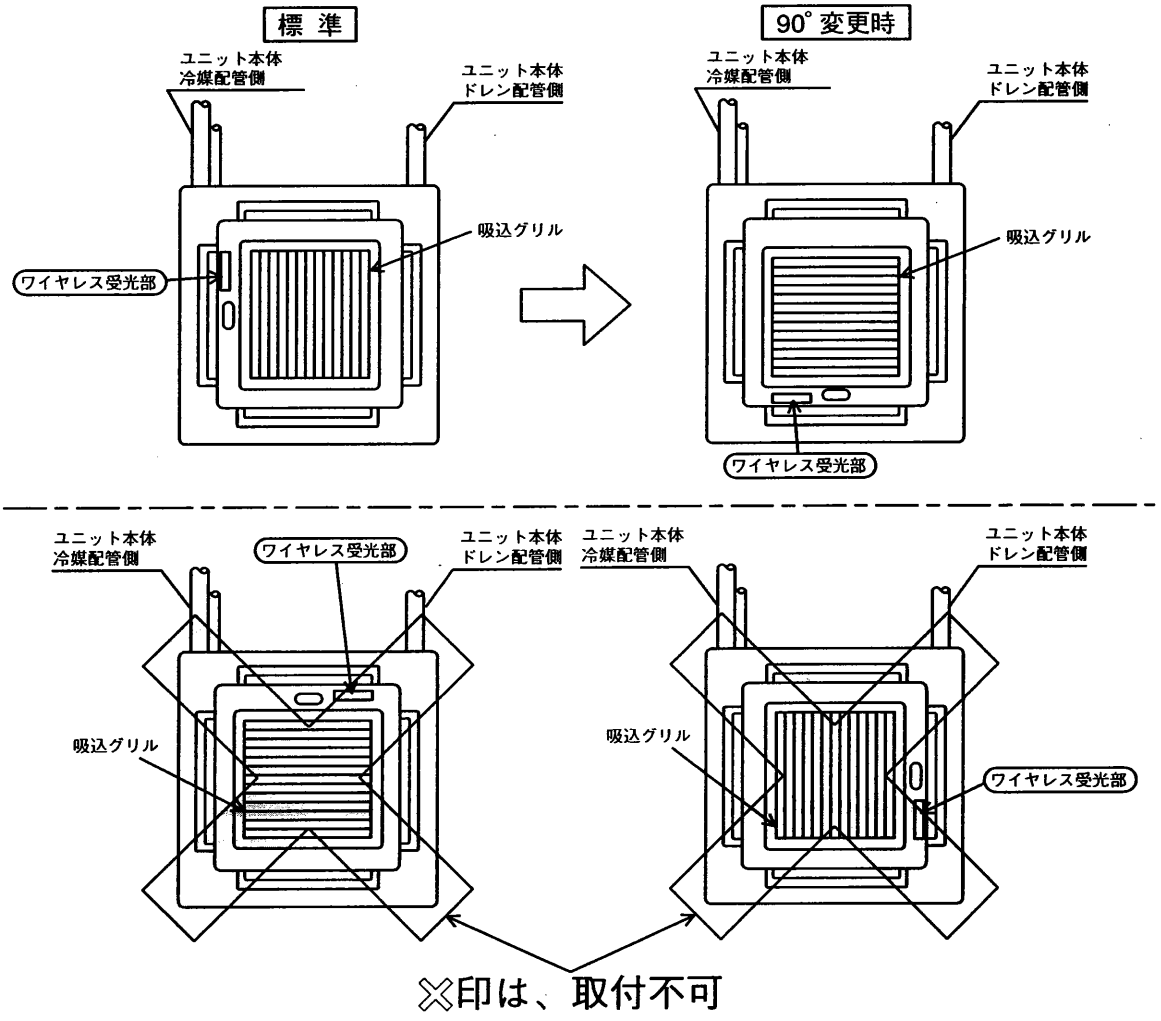
SWB ＼ SWA	1（静音）	2（標準）	3（高天井）
4（4方向）	2.4m	2.7m	3.0m
3（3方向）	2.7m	3.0m	3.3m

※□印部以外はスライドスイッチの設定が必要です。
（□印部は、工場出荷時の状態です。）
・SWA－天井高さ対応　・SWB－吹出口数変更

4. 化粧パネルの取付

●中形パネルについては、複数台設置時の吸込グリルの方向合せや、
お客様の要望により下図のように変更できます。(大形は標準取付のみです。)

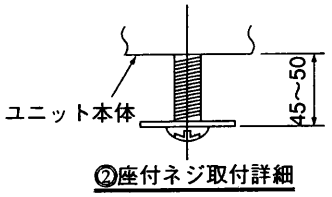
※下図の✕印の取付けをすると吸込グリルが正常に収納できない、または故障の原因となりますので必ず守ってください。



✕印は、取付不可

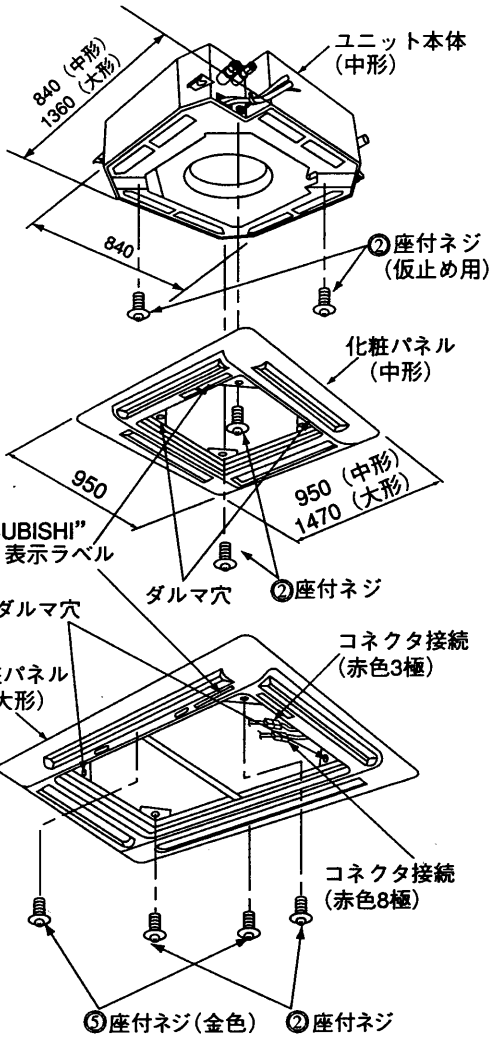
1）準　備

●右図の位置に付属の座付ネジ②を２本対角に取付ける。



2）化粧パネルの仮止め

●**ユニット本体と化粧パネルの向きを合わせ仮止めをする（ダルマ穴側）。**
また、この時コネクタがかまないようにする。
※大形パネルも同一要領で作業を行ないます。



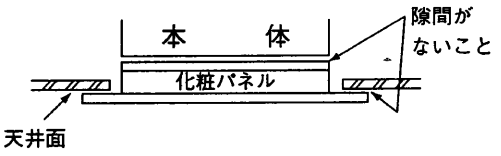
3）化粧パネルの固定

〈中形パネルの場合〉

●仮止めした座付ネジ②２本と、残りの座付ネジ②２本を締付けて、ユニット本体に化粧パネルを固定する。

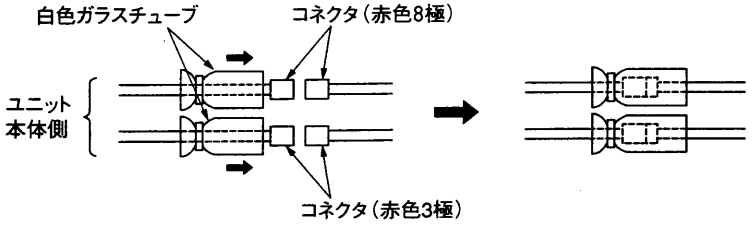
〈大形パネルの場合〉

●座付ネジ⑤（金色）にて長手吹出口の中央部を締付け後、4角のネジを締め、6本全てのネジを均一に締付ける。
※化粧パネルを取付ける時、ユニット本体と化粧パネル、及び化粧パネルと天井面との間に隙間が無いようにする。

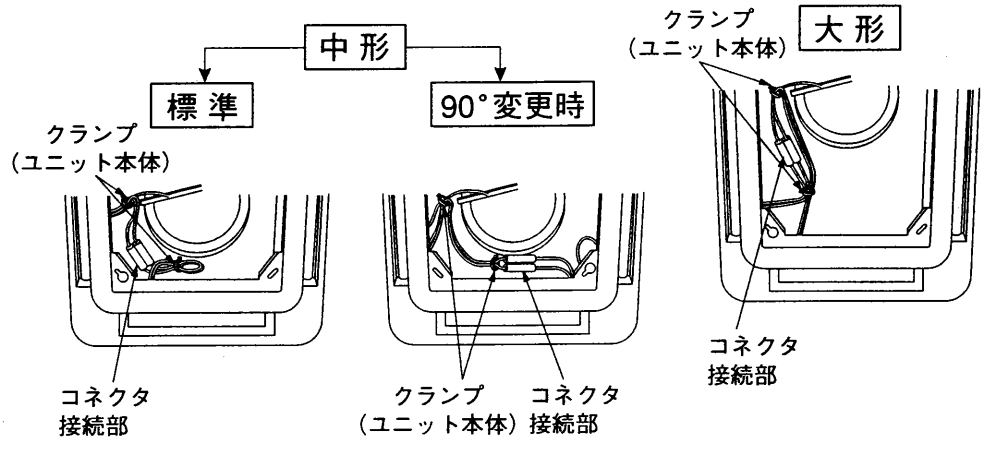


4）配線接続

●ユニット本体と化粧パネルのコネクタ（赤色８極、赤色３極）2ヶを必ず接続します。接続後、ユニット本体側の白色ガラスチューブを、矢印で示す方向にいっぱいまでスライドさせてコネクタ接続部が露出しないようにかぶせ、パネルのクランプにてリード線を固定してください。（下図参照）



●配線接続の際、リード線がワイヤー（吊りヒモ）に接触しないようにクランプで固定してください。（下図参照）
※ワイヤーとリード線が接触するとリード線が切れ、感電の原因及び故障の原因になります。



5) 吸込グリル下降距離の設定

●この化粧パネルは、吸込グリルの下降距離を設置場所に合わせお客様の要望により、4段階に設定することができます。

※工場出荷時は、天井面より1.8mで自動停止します。

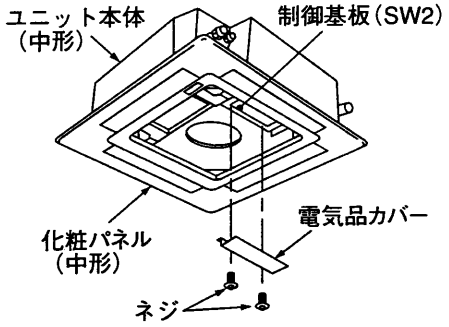
①化粧パネルの電気品カバーを外します。(ネジ2本)

②制御基板のSW2のディップスイッチを右表の設定にします。

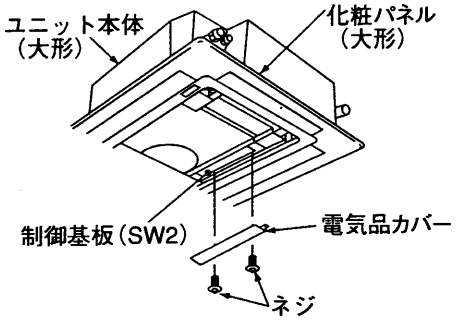
③電気品カバーを元通りに取付けます。

下降距離(天井面より)	1.3m	1.8m	2.4m	3.1m
天井高さの目安	~2.5m	2.5~3m	3~3.6m	3.6~4.2m
SW2の設定		工場出荷時の状態		

中形パネルの場合



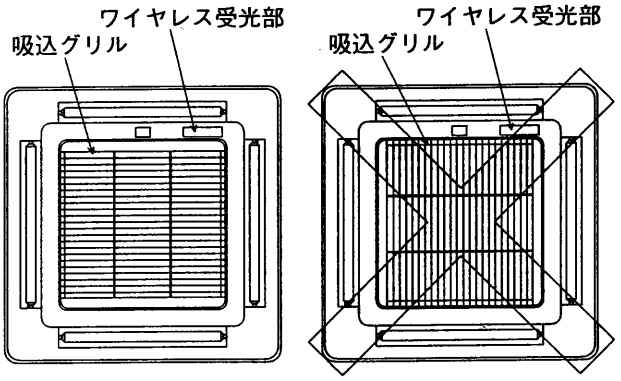
大形パネルの場合



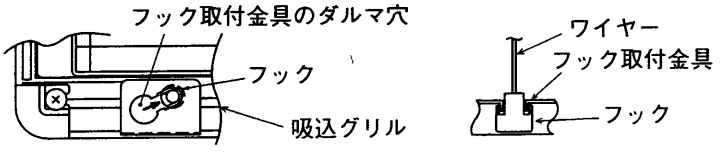
5. 吸込グリルの取付け

※作業を行なう前には必ずユニットの運転を停止してください。

●吸込グリルには取付方向に規制があります。
右図のようにパネル受光部と吸込グリルの格子の向きが平行になるよう取り付けてください。
(垂直方向に取り付けた場合には、吸込グリルが収納されません。)



1) 吸込グリルのコーナー部金具のダルマ穴にワイヤー先端のフックを入れ、金具の形状とフックの溝部を合わせ、矢印の方向にスライドして引っ掛けます。(4ヶ所)



※ワイヤーは、絶対に引張らないでください。(故障の原因になります)

2) 電源投入後、昇降パネルリモコンまたは昇降パネルリモコン用受光部の“上げる”ボタンを押すと吸込グリルがパネルに収納されます。

—— 吸込グリルの仮固定 ——

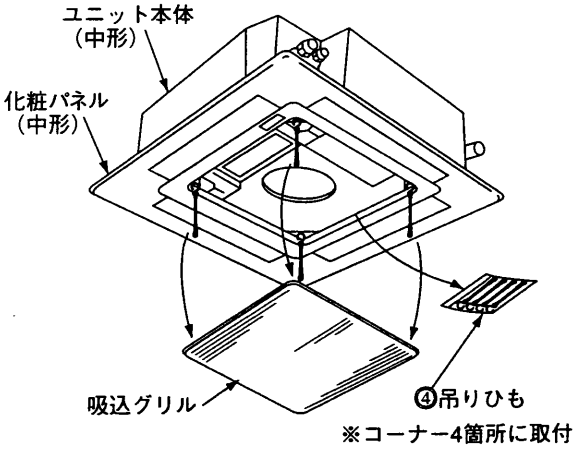
※電源投入前またはサービス時などの場合には下記要領にて吸込グリルの仮固定を行なってください。（仮固定の状態では吸込グリルを昇降操作出来ません。）

※吊りひも④は右図の位置に収納されています。

1) ワイヤー4本をからまないようにまとめ、化粧パネルのリード線固定用クランプまたはテープなどにより化粧パネルの内部に固定します。

※仮固定した状態でユニットを運転する場合があるため、ワイヤーが送風機に巻き付かないようにしっかりと固定してください。

2) 落下防止用の吊りひも④のフック（Sリング側）を化粧パネルの据付金具の丸穴に、もう一方のフック（ナスカン側）を吸込グリルのフック取付金具のダルマ穴に引っ掛けます。（コーナー4箇所に取付）



⚠警告	吸込グリルの落下防止対策をする。
	●吸込グリルの落下により事故の原因になります。

6. 確　認

●吸込グリルの下降距離が、お客様の要求に合っているかを確認します。

●ユニット本体と化粧パネル、及び化粧パネルと天井面に隙間のないことを再確認します。
※隙間があると露たれや露付の原因となります。

●配線接続が確実にされていることを確認します。
※接続されてないとオートベーンが動かない、また露たれや露付等の原因となったり、吸込グリルが昇降しない原因となります。

●ワイヤレスリモコン対応（別売）の場合、リモコンとユニット本体のペアナンバーが合っていることを確認します

上記項目を確認した後、この説明書とユニット本体及び別売部品の説明書等の一式全てをお客様へ渡してください。その際、化粧パネルの取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明と吸込グリルの昇降方法（リモコン操作）を必ずお客様へ説明してください。